

日時 令和5年5月26日  
13時30分～

令和5年度 大阪府立日根野高等学校第1回学校運営協議会

進行 教頭 川瀬 治彦  
記録 教諭 吉田壮乃子

1. 校長挨拶

2. 協議会委員及び事務局員紹介

1) 協議会委員（出席者）4名

泉佐野泉南医師会看護専門学校	副学校長	西田 好江 様（欠席）
ひねのこども園	園長	神藤 吉伸 様（遅参）
泉佐野市立日根野中学校	校長	武田 博之 様（欠席）
イオンモール日根野	ゼネラルマネージャー	横倉 実可 様
大阪府立日根野高等学校	後援会役員	小伊勢 智子 様
大阪府立日根野高等学校	PTA会長	畠中 清匡 様

2) 事務局員（出席者）9名

校長	山本 好男
教頭	川瀬 治彦
事務長	松元 敏行
首席	栗原 重彦
首席	矢萩 友之
教諭（教務部長）	大土 渡
教諭（生徒指導部長）	木藤 耕平
教諭（保健総務部長）	武田 吉恵
教諭（進路指導部長）	堺 花野（欠席）
教諭	吉田壮乃子

3. 実施要項の確認

- ・委員の任期は2年、再任は妨げない

4. 協議案件

1) 協議会会長の選出

- ・会長に、PTA会長（畠中氏）、副会長に、ひねのこども園園長（神藤氏）を選出

2) 令和5年度学校経営計画及び学校評価について

- ・今年度、学校として授業改善に最も力を入れている

- 昨年度の授業アンケートの総合スコアは **3.3** 府立高校としては非常に高い数値
- 「ICT活用授業満足度」は目標の85%まであと1%、上がってきている
- 「考える時間や発表する活動を取り入れている」もアンケートで **3.3**
- 「コース・科目満足度」も昨年目標の88%を達成
- 教員のストレス値は比較的低い数値である
- △ 昨年度、遅刻者数が増加した
- △ クラブ加入率が年々減少する傾向にある
- △ 昨年度、コロナ過の影響もあり、転退学者、原級留置者が増加した

<委員>コース・科目選択満足度のR1年度が高かったのはなぜか

<回答>R2、R3はコロナ禍の影響で下がった可能性があるのでは

<委員>教員の時間外在校時間は減っているが、仕事量は減らない中で家に仕事を持ち帰っているのではないか

<回答>校務の電子化で資料準備（印刷等）の時間削減や、授業でクロムブックを活用することにより生徒との課題等のやり取りがスムーズになるなど、負担軽減となっている

<回答>4月5月は部活動で、土日出勤することも多かったが、平日は定時で帰ることも多くある

<回答>会議時間の縮小、時間外電話対応をやめることなどで削減

<委員>ネット社会で情報過多な世の中、子どもたちにも様々な情報が飛び交う。命の大切さや社会ルールを学ぶ機会を大切にしてほしい

<回答>貴重なご意見ありがとうございます。今後活かしていきたいと思えます

### 3) 各分掌より報告

#### 【進路指導部より】

〈昨年の合格状況〉

- ・和歌山大学に推薦（センター利用）で1名合格
- ・看護医療系専門学校に今年も多数の合格者

#### 【三年生学年主任より】

- ・繊細な生徒が増えている傾向にある。クラス替えなど、生徒の希望を優先することで現時点では順調な学校生活を送れている
- ・進路実績をどれがけ残せるか、そのためにどう働きかけるかが課題

#### 【生徒指導部より】

- ・遅刻が昨年とても増えた。特に三年生。（近隣校も同様の傾向がみられた）
- ・遅刻を常習する者の数は変わらないが、たまに遅刻する生徒の数が増えた
- ・今後体育祭、中間考査後にどれだけ増やさないかが課題
- ・三年生を進路モードへ、生活習慣の見直しなどに力を入れる
- ・特にルールは増やさず対応をするが、遅刻者が増えた場合は対策のためのルールを増やすと生徒には伝えている

4) スクール・ポリシーの策定について

【スクール・ミッション】（決済済み）

- ・10年ごとに見直す 学校組織の普遍的、中心的価値、学校の存在意義について

【スクール・ポリシー】

- ・5～10年毎に見直す スクール・ミッションを実現するための教育活動の方針

①グラデュエーション・ポリシー

②カリキュラム・ポリシー

③アドミッション・ポリシー

- ・本校は、医療従事者や保育士など人とのかかわりの中で社会に貢献できる人材の育成に努めています。そのことを組み込んだ内容にしたいと考えています。ご一読いただき、ご意見があれば本校事務局まで連絡ください

5) その他

<委員>イオンモールの工事を予定している。その際にできる白壁に日根野高校の美術部の生徒などのイラスト、作品をお願いできないか考えている。また、吹奏楽部の発表など、コロナ禍も収束してきたので依頼したいと考えている

<回答>学校側としては大歓迎

<委員>昔、教師は厳しいものというイメージだったが、現代の先生方が親しく歩み寄る雰囲気は、子どもたちもやりやすいと思っているはず。保護者からのクレームとかはあるか

<回答>クレームなどはほとんど聞いたことがない、協力的な方が多い

<回答>私は立場上あるが、モンスターペアレントといわれるような意見はない

<委員>本校でも生徒は先生にタメ口か

<回答>私は部活動などきちんとすべきところでは許していない。先生に親しみがあるのはいいことだが、社会のルールを学ぶべきところなので、先生自身もわきまえることも必要だと思っている

<委員>先生と生徒の間に壁は必要ないが、一線（ケジメ）は必要だと思う

次回 10/20（金）14：10～ （授業見学・協議）